

傷 害 サ ツ マ イ モ 中 毒 診 断 の た め の イ ポ メ ア マ ロ ン 同 定 法 の 改 良

大鹿有加^{1)†} 石井沢径²⁾ 白井彰人¹⁾ 川嶋啓介¹⁾

- 1) 鹿児島県鹿児島中央家畜保健衛生所（〒 899-2201 日置市東市来町湯田 1678）
2) 鹿児島県鹿児島中央家畜保健衛生所熊毛支所（〒 891-3604 熊毛郡中種子町野間 6065）

（2025 年 10 月 7 日受付・2026 年 1 月 7 日受理・2026 年 6 月 30 日公開）



本文はこちら
https://www.jstage.jst.go.jp/article/jvma/79/6/79_e88/_article/-char/ja

要 約

牛の傷害サツマイモ中毒の診断に必要な飼料中イポメアロン（IP）の同定法について改良を検討した。従来法は抽出に要する作業工程が煩雑で2～3日を要し、人体及び環境に有害なクロロホルムを使用する必要があった。今回の検討により、試料の凍結乾燥、粗抽出液の酸洗浄及びアルカリ洗浄等の精製工程の一部を省略することができた。さらに、クロロホルムの代替に酢酸エチルを使用した改変酢酸エチル法（改変EA法）を検討したところ、十分なIP同定能が認められ、作業時間は1日に短縮できた。また、供試飼料重量は1/5に、有機溶媒使用量は大幅に削減できた。改変EA法は特殊な機器が不要で、従来法よりも操作が簡便かつ短時間で実施でき、有機溶媒曝露の観点から安全性に優れるため、きわめて有用である。——キーワード：同定法、イポメアロン、傷害サツマイモ中毒。

----- 日獣会誌 79, e88～e94 (2026)